



文責 本宮小学校長 佐久間仁

全国学力調査から

四月十八日に、六年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、本校の概要についてお知らせします。

〔調査内容〕

○教科に関する調査（国語、算数）
○児童質問紙調査

〔教科に関する調査〕

〔国語〕

○読むは全国を上回りましたが、話す・聞く、書くは全国を下回り、特に書くが低い結果でした。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝える力を身に付けることが必要です。



○授業では、対話的な活動を取り入れています。自分の考えの根拠となる事柄を集めたり、事柄を整理して、発表メモを作ったりするなど、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるた

めの工夫に課題がみられます。

○朝自習などの限られた時間の中で、条件付き短作文に取り組むことで、題意や条件に沿って書き表す経験を積むことが必要です。限られた時間内に必要な情報を的確に読み取るために、授業や授業外（朝自習、家庭学習）で、音読の工夫や速読に取り組んでいく必要があります。

〔算数〕

○全ての領域で全国を下回りました。特に数と計算、変化と関係、データ活用が低い結果でした。問題場面の数量関係をとらえ、式に表す力がまだ十分身に付いていません。また、除数が小数である場合の除法の計算をする力も十分とはいえません。速さや道のり、時間の関係を考える力や、折れ線グラフのデータを読み取る力にも課題があります。

○基本的な知識・技能の定着とそれらを使って思考・判断・表現しながら物事を筋道立てて考える力を身に付ける必要があります。

○平均以上の子は少なく、平均並みか平均以下の子が多くみられます。授業の後半や単元末などに、習熟の時間を確保し、個に応じたきめ細かい指導の充実を通して、基礎・基本の定着を図る必要があります。

〔児童質問紙調査〕

○自ら課題意識をもち、情報を集め整理し、課題解決に生かそうとする

意欲があります。自分の考えが相手に伝わるように資料や文章を基に、話の組み立てなどを工夫して発表しようとする意欲もあります。学習した内容を振り返り、次の学習に生かそうとしたり、授業で学んだことを他の学習に生かそうとしたりする意欲も高いです。地域の行事に進んで参加しようとする児童が比較的多いのも特徴の一つです。

○夢図書館との連携による読書活動の奨励、コミュニティ・スクールを核とした人材活用による地域学習の推進を図ることで、より一層の学びの深まりや広がりが期待できます。

○ICT機器の活用が進んでいる一方で、個別最適な学び、協働的な学びの充実に生かす取り組みが求められます。英語専科による英語の授業が充実する一方で、授業以外で英語を生かそうとする意識を高める必要があります。

○基礎基本の定着を図りながら、より多面的・多角的に物事を考える力を伸ばすために、タブレットのアプリ機能の充実と活用を検討する必要があります。人的・物的資源の更なる利活用を通して、学ぶ意義や学ぶ楽しさを感じることができる教育活動の充実を目指してまいります。

※個人の結果を配付しますので、お子さんと成果や課題を話し合い、今後に向けて励ましてください。

栄

誉をたたえて



〔福島県たなばた展〕

〈奨励賞〉 三年 糠澤 結衣
二年 藤田 結香

〈特選〉

二年 秋田 律
三年 宗像 陽太
四年 糠澤 柚羽
四年 武藤 いぶき
五年 菅野 詩
五年 國分 優杏

〔安達地区小中学校音楽祭〕

〈奨励賞〉 本宮小学校



心を一つに

合唱クラブは二本松市民会館で行われた音楽祭に参加し、美しい歌声を披露しました。これまでの練習の成果を存分に発揮することができました。保護者の皆様のおかげで応援ありがとうございました。

〔お知らせ〕

大学生の武藤瑞希さん（本宮市出身）が本校で教育実習を行います。限られた期間ですが、子どもたちと仲良く学んでほしいと思います。